

# 『悪くならないように』 糖尿病は『悪くならなかったから』 入院するのではなく 入院するのです。



## 美濃病院『糖尿病学習会』

当院の糖尿病治療専門スタッフが毎月、第1・3・5水曜日の14:00～15:00に美濃病院で『糖尿病学習会』を開催しています。

糖尿病に興味のある方はご自由にご参加ください。お問い合わせは美濃病院事務局（☎33-1221）まで。

## 糖尿病教育入院

『病院に入院する』と言うことは、手術をするためや外来や往診では治療が不十分なために入院するというのが普通です。ところが、糖尿病は違っています。『悪くならなかったから入院する』のではなく、『悪くならないように入院する』『糖尿病を学習するために入院する』のです。この入院形態は、以前から世界中で行われており、糖尿病教育入院、糖尿病コントロール入院と言われています。

1～2週間の入院中に、自分の血糖と血圧、コレステロールの関係を学び、糖尿病の病態を理解し、食事、運動、薬物治療を習得して合併症をチェックをするのです。

「糖尿病が分かった」、「美濃病院で教育入院してよかった」と言っていただけであります。ひとりの喜びはありません。ひと

りでも多くの糖尿病患者様によりよい血糖コントロールを達成していただき、健常者と同じ人生を歩んでいただきたいのです。

## オーダーメイド医療

患者様に満足していただくには、その人に適した独自の治療が必要になってきます。一流の洋服は採寸して作ります。医療だって同じです。人にはそれぞれその身長、体重、仕事にあわせた治療法があるはずです。しかも糖尿病の原因はひとつではありません。個々に適した治療法の選択、これをオーダーメイド医療といえます。

## 充実したスタッフ

このきめ細やかな医療を提供するためには、専門スタッフが必ず必要です。

美濃病院の糖尿病内科では、専門の医師、薬剤師、栄養士などが

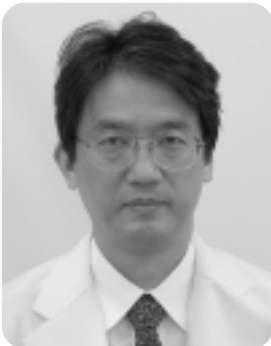
## 美濃病院糖尿病治療専門スタッフ



◀三浦 淳 医師  
(みうら あつし)  
美濃病院副院長  
糖尿病専門外来  
月・火曜日担当



▲伏見 宣俊 医師  
(ふしみ のぶとし)  
岐阜大学内分分泌代謝  
病態学  
糖尿病専門外来  
水曜日担当



▲鈴木 英司 医師  
(すずき えいじ)  
岐阜大学健康障害半  
減講座助教授  
糖尿病専門外来  
木曜日担当



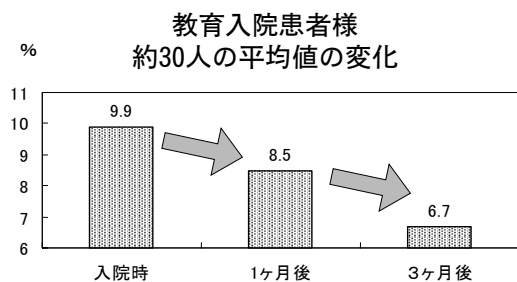
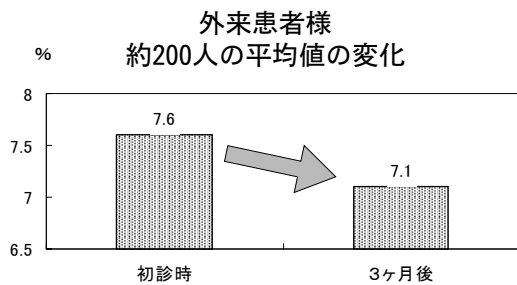
▲スタッフ会議

医師はもとより、看護師、薬剤師、栄養士、検査技師、理学療法士など、各自の専門分野を生かしてチーム医療を展開中。

※糖尿病療養指導士とは、日本糖尿病療養指導士認定機構が与える資格で、糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識を持ち、医師の指示の下で患者に患者様に最適な療養指導を行うことのできる医療従事者のことです。

### ヘモグロビンA1c 平均値の変化

血液中のヘモグロビンA1cを調べることによって過去1～2カ月の血糖コントロールの状態が判明します。(6.5%以下が目標)



### 中濃の拠点病院と

県内には岐阜大学を中心とした糖尿病/生活習慣病診療の拠点病院が幾つかあります。例えば、岐阜南部は松波総合病院や羽島市民病院。大垣地区は大垣市民病院。高山地区は高山赤十字病院が拠点

さらに、この度、当院の看護師、理学療法士の4名が、日本糖尿病療養指導士認定機構の糖尿病療養指導士の試験に合格するなど、より高度な医療提供ができるように日々努力を重ねています。

連携してチーム医療を展開しています。

美濃病院も中濃地区の中心に位置し、各地域からの交通の便もよく、専門スタッフも充実し、拠点病院として貢献できる条件が十分そろいました。

そして、当院の糖尿病内科の使命は、適切で幅広い専門知識と親切なサービスによって、患者様に満足していただける医療を提供し続けることと考えています。

今後とも地域の拠点病院として皆様に信頼していただけるような医療提供に努めてまいりますので、よろしく願います。